



ごはん・お米とわたし

作文・図画コンクール



課題

(作文・図画両部門共通)

毎日のごはんでおいしかったことや
家族とのコミュニケーション、
お米・ごはん食に関する思い出や
考えたことなどを素直な気持ちで
自由に表現して下さい。

美味ちゃん
©みんなのよい食プロジェクト

「国産国産(こくしょうこくさん)」とは、自分たちが食べる食材は、できるだけ
自分たちの国でつくるという考え方です。詳しくは特設サイトからご覧いただけます。



しめきり日 令和8年9月15日(火)必着

応募・
問い合わせ先

JA神奈川県連広報局 JAグループ神奈川

検索

〒231-0002 横浜市中区海岸通1-2-2 JAグループ神奈川ビル8階 TEL.045-680-3046

応募資格

小学校および中学校に在籍する児童・生徒。特別支援学校の小学部・中学部に在籍する児童・生徒。

応募規格

(枚数・大きさ)

【図画部門】

- 1部 小学校1年生～3年生
- 2部 小学校4年生～6年生
- 3部 中学校1年生～3年生

B3判、もしくは四つ切りの市販
画用紙を使用。
画材は特に制限しません。

※神奈川県では図画部門のみの募集となります。
詳しくは神奈川県実施要領をご覧ください。

賞

内閣総理大臣賞	作文・図画部門各1名	計2名
文部科学大臣賞	各部門各部門ごとに1名	計6名
農林水産大臣賞	各部門各部門ごとに1名	計6名
全国農業協同組合中央会会長賞	各部門各部門ごとに1名	計6名
優秀賞	各部門各部門ごとに15名	計90名
学校奨励賞	内閣総理大臣・文部科学大臣・農林水産大臣各賞受賞者所属校	計14校

※各部門には審査基準がありますので、詳細については上記お問い合わせ先までご連絡下さい。

主催：農業協同組合／都道府県農業協同組合中央会／全国農業協同組合中央会

後援：文部科学省／農林水産省／こども家庭庁／全国都道府県教育委員会連合会／全国市町村教育委員会連合会／日本放送協会(NHK)／全国連合小学校長会／
全日本中学校長会／(公社)全国学校図書館協議会／(公社)日本PTA全国協議会／(公社)米穀安定供給確保支援機構

協賛：全国農業協同組合連合会／全国共済農業協同組合連合会／農林中央金庫／(一社)家の光協会／
(株)日本農業新聞／全国厚生農業協同組合連合会／(一社)全国農協観光協会

耕そう、大地と地域の未来。 JAグループ

本コンクールは、みんなのよい食プロジェクトの一環
として取り組んでいる事業です。過去の受賞作品は、
JAグループHPからご覧いただけます。



「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール

JAグループがすすめる「みんなのよい食プロジェクト」の一環として、これからの食・農を担う次世代の子どもたちに、お米・ごはん食、稲作など、日本の食卓と国土を豊かに作りあげてきた稲作農業全般についての学びを深めてもらうとともに、子どもたちの優れた作品を顕彰することをつうじて、稲作農業の多面的機能と、お米・ごはん食の重要性を広く周知するために開催しています。

美味ちゃん ©みんなのよい食プロジェクト

＜過去の受賞作品＞ JAグループHP(<https://life.ja-group.jp/education/contest/>)でもご覧いただけます。

※学年は受賞当時のものです。

図画部門

第48回内閣総理大臣賞



「力いっぱい炊きあがれ」

埼玉県 狭山市立山王小学校6年
津久戸 花実さん

第49回内閣総理大臣賞



「おこめのさと」

京都府 木津川市立恭仁小学校1年
山岡 彩葉さん

第50回内閣総理大臣賞



「心をこめて大きくな～れ!!」

広島県安芸高田市立美土里小学校2年
石川 夢弓さん

作文部門

第50回内閣総理大臣賞

「おばあちゃんの宝物」

三重県学校法人三重高等学校三重中学校3年
大西 眞廉さん

「ただいま、おばあちゃん。」
僕は夏休みを利用して、遠方で一人暮らしをする祖母に会いに行った。
久しぶりに会った祖母は、
「お帰り。遅くから来てくれてありがとう。」
と微笑んで出迎えてくれたが、何となく元気がないように感じた。僕は思わず、
「おばあちゃん、体調でも悪い？」
と聞いてしまったが、
「大丈夫だよ。歳だから足腰は痛いけど。」
と祖母は笑いながら答えた。
そんな祖母を見て、僕は何か手伝えることはないかと聞いてみた。すると、
「ありがとよ、大丈夫だよ。ご飯ができるまで奥の部屋で休んでいて。」
と祖母は言った。僕は一度奥の部屋へ行ったが、祖母が気になり、すぐに祖母が
いる台所へ戻った。ご飯の準備で、せかせかと動き回っている祖母を見て、僕は、
「ご飯、炊くのか？」
と尋ねてみた。すると、
「えっ、お米とげるの？」
と祖母はびっくりした様子だったが、僕が母から特訓を受け、炊飯器をセット
できると言っただけで話をし、納得してくれた。
早速僕は、米びつがある納戸へ行く。米びつの隣に大きな米袋があるの
に気付いた。その袋を開けてみると、中には玄米が入っていた。僕は、見慣れ
ない玄米を思わず両手ですくってしまっただけで、手の中の玄米は、小石が混じっ
ていて、食べられる米ではなさそうだった。僕は、米びつの中の精米をさしたき
れいなお米を持って台所へ戻った。そして、
「米びつの隣にあるお米の袋、あれ何？」
と祖母に聞いた。すると祖母は、
「あれは宝物だよ。」
と優しく笑った。僕は「宝物」の意味が分からず不思議に思い、詳しく聞いてみる
と、それは二年前に他界した祖父が亡くなる前の年に収穫した最後の米だった。
祖父は兼業農家で、会社を定年退職した後は、少しでも米を作っていた。
しかし、その年は台風が直撃し、全ての稲が倒れ、水に浸かって全滅して
しまったらしい。祖父の心中は、僕の想像より遥かに辛かったと思う。通常、
一度倒れてしまった稲は、処分してしまわなければならないが、祖父は諦めず、倒れた
稲をできる限り起こして、収穫したそうだ。祖父はこの重労働を一人で行な
い、二袋弱の米を収穫することができた。もちろん、その米は売り物にはならない。
しかし、どうしても破棄できなかった祖父の気持ち、痛い程よく分かる。
そして、祖父が最後に収穫した米を「宝物」と言う祖母の真意も理解できた。
その話を聞いた僕は、祖母のために、この宝物でおにぎりを作りたいと提案した。
「これは、美味しいお米じゃないから。」
と、祖母はためらったが、僕は食い下がった。
「宝物のお米で、元気がなっちゃいます。」
僕がそう言うと、祖母はニコリと笑った。
僕は早速、宝物を新聞紙の上に広げ、祖母と一緒に「ミミ」を取り除いた。
細かい石などが混じっていて、とても面倒な作業だったが、祖母との会話は
弾みがあった。
異物を取り除いた玄米を精米機にかけて、僕はその米をいり、炊飯器で炊いた。
ビビッと炊き上がりを知らせる音を聞き、祖母と一緒に炊飯器の蓋を
開けると、湯気がホワッと上がり、美味しそうな香りが漂った。僕は、炊き立て
のご飯に、祖母が用意してくれた、梅干しや昆布を詰め込んで、おにぎりを
握った。不格好なおにぎりがいくつもできた。それを見た祖母は
「美味しそうだね。ありがと。」
と言ってくれて、食卓に並べた。
祖母がおにぎりを一口食べた時、僕の頭の中におじいちゃん、おばあちゃん、
と、祖母が少しだけ元気がなったような気がした。

応募総数

第50回「ごはん・お米とわたし」
作文・図画コンクール

作文部門: 26,972点 図画部門: 39,170点

第51回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール 全国審査会／表彰式日程

【全国審査会】

図画本審査会: 2026年11月12日(木)
作文本審査会: 2026年11月17日(火)
会場: JAビル(東京・大手町)

【表彰式】

日時: 2027年1月9日(土)
会場: JA共済ビル カンファレンスホール



第51回「ごはん・お米とわたし」図画コンクール 神奈川県コンクール実施要領

はじめに

「ごはん・お米とわたし」図画コンクールの主旨

「ごはん・お米とわたし」図画コンクールは、J Aグループがすすめる「みんなのよい食プロジェクト」の一環として、これからの食・農・地域を担う次世代の子どもたちに、お米・ごはん食、日本の食卓と国土を豊かに作りあげてきた稲作をはじめとする農業についての学びを深めてもらうとともに、子どもたちの優れた作品を顕彰することを通じて、お米・ごはん食・日本食の重要性を広く周知することを目的として実施しています。

【課題】

毎日のごはんでおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米・ごはん食に関しての思い出や考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現してください。

【応募資格】

神奈川県内の小学校に在籍する児童

1. 応募規格

1部：小学校1年生～3年生 2部：小学校4年生～6年生

B3判サイズ相当(36.4 cm × 51.5 cm)、もしくは四つ切り(38.0 cm × 54.0 cm)の市販画用紙を使用してください。

2. 応募規則

(1) 未発表でオリジナルの作品に限ります。また、他のコンテストに応募していない作品に限ります。

他人の写真や作品を模写・模倣したものは応募できません。著作権、商標権、肖像権など、他者の権利を侵害する作品は応募できません。盗作や不適切な引用があった場合、審査対象外とします。

(2) ひとりで2点以上の応募や合作したものは応募出来ません。

(3) 作品には応募票をつけてください。

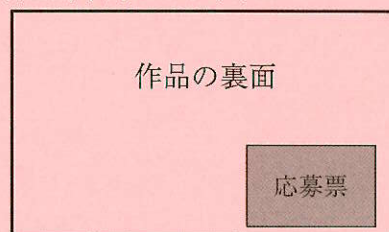
応募票には次の事項を明記してください。

①作品の題名、②氏名、③学校名・学年・組、

④自宅住所・連絡先(電話番号)

添付位置は作品裏面右側とします(右図参照)

(4) 作品は返却しません。また、作品の著作権は神奈川県農業協同組合中央会に帰属します。



3. 審査基準(次のようなものは審査の対象外になります)

①ごはんおよびお米を主題としていないもの。

②スローガンや文字を入れたポスター的なもの。

③おとぎ話や童話をモチーフにしたもの。

④漫画やアニメなどのキャラクターを挿入したもの。

⑤おむすびやお米に顔や手・足の出ているもの(擬人化したもの)、および実在しないもの(空想やファンタジー性のあるもの)。

⑥石、木片などを貼りつけたもの。

⑦紙の寸法が極端に大きかったり小さいもの。

⑧紙がボール紙のように厚かったり、半紙のように薄いもの。

⑨台紙に貼って応募したもの。

⑩メーカー名や企業名、ロゴマークなどを使用したもの、および宣伝になる恐れがあるもの。

⑪パソコンなどでデジタル的に描かれたもの。

ただし、キャンバスボードに油絵で描いたもの、あるいは石版画、シルクスクリーン、木版、スクラッチボードなどを利用したものは基準内として審査対象とします。

また、いわゆる「切り絵」や「貼り絵」についても審査対象とします。

⑫道路交通関連法規などへの違反が疑われるもの。

(例. トラクターの乗車定員オーバー(2人乗り)、乗車装置でない荷台に乗った姿が描かれたもの など)

【応募締切日】

令和8年9月15日（火）【必着】

【送り先・お問い合わせ先】

J A 神奈川県連広報局

〒231-0002 横浜市中区海岸通 1-2-2 TEL:045-680-3046

応募票等はJ Aグループ神奈川ホームページ（「J Aグループ神奈川」で検索）よりご確認ください。

※送料はご負担ください。

【審査日・入賞発表】

審査日：令和8年10月上旬 入賞発表：令和8年12月上旬 本人宛に通知いたします。

入賞者の氏名・学校名を「J Aグループ神奈川ホームページ」に掲載いたします。

【審査員】（予定）

神奈川県教育委員会 神奈川県農業協同組合中央会 他

【賞】 入賞者には賞状と副賞を贈呈します

・神奈川県知事賞	1名	・神奈川県農業会議会長賞	各部1名－計2名
・神奈川県教育長賞	各部1名－計2名	・神奈川県農業協同組合中央会会長賞	各部1名－計2名
・農林水産省関東農政局長賞	各部1名－計2名	・神奈川県信用農業協同組合連合会理事長賞	各部1名－計2名
・神奈川県環境農政局長賞	各部1名－計2名	・全国農業協同組合連合会神奈川県本部長賞	各部1名－計2名
・神奈川新聞社賞	各部1名－計2名	・全国共済農業協同組合連合会神奈川県本部長賞	各部1名－計2名
・tvk賞	各部1名－計2名	・神奈川県厚生農業協同組合連合会理事長賞	各部1名－計2名

全国コンクールへの推薦

本県審査の優秀作品は全国審査へ送ります。全国審査による賞は次のとおりです。

・内閣総理大臣賞	1名	賞状と副賞
・文部科学大臣賞	各部1名－計2名	賞状と副賞
・農林水産大臣賞	各部1名－計2名	賞状と副賞
・全国農業協同組合中央会会長賞	各部1名－計2名	賞状と副賞
・優秀賞	各部15名－計30名	賞状と副賞



個人情報について

- 記入いただいた個人情報は、入賞通知・発表や表彰式などのほか、県名、学校名、学年、氏名等の情報についてはプレスリリース等のメディアへの発表、主催者（後援・協賛）の広報媒体（入賞作品集やホームページ等）への露出や作品展示などの広報活動および諸事業活動で公表・使用することがあります。上記および、法令等により開示を求められた場合を除き、承諾なくコンクール関係者以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
- 作品を応募することによって、上記の個人情報の使用に承諾したものとします。

主催

神奈川県下農業協同組合
神奈川県農業協同組合中央会

後援

神奈川県／神奈川県教育委員会
農林水産省関東農政局／神奈川新聞社
tvk／神奈川県農業会議

協賛

神奈川県信用農業協同組合連合会
全国農業協同組合連合会神奈川県本部
全国共済農業協同組合連合会神奈川県本部
神奈川県厚生農業協同組合連合会